ブロック名（　当別・新篠津　　）

令和2年度

理論研	テーマ	小中一貫校での学校保健、保健室経営の実際について		
	講師名	石狩市立厚田学園　　養護教諭　加納わかな先生		
	実施日	10月6日（火）	場所	石狩市立厚田学園
	内容・成果	小中一貫校における学校保健の実際や、開校にあたっての準備についてお話を伺ったほか、厚田学園の新しい校舎の見学をさせていただいた。児童生徒は、1～4年（低ブロック）、5～7年（中ブロック）、8～9年（高ブロック）で計37名おり、すべての学年が同じ日課で生活しているとのことだった。人数が少ないため、校内の清掃活動は縦割り班で実施するなど工夫されていた。養護教諭は前期課程、後期課程両方の子どもたちへ対応するため、校内の掲示物などは、どの学年の子どもが見ても楽しめるような、わかりやすい内容のものを工夫して作成されているとのことだった。厚田学園は、厚田小学校、厚田中学校、聚富小中学校の3つの学校が閉校となり、聚富・望来・厚田・発足地区を校区として誕生した義務教育学校であり、開校にあたっては、保健室の物品の精選など、合併する学校同士で連携して、引っ越しの準備を進めていったとのことであった。また、学校保健安全計画については、他小中一貫校を参考にしつつ、厚田小・中の計画を踏襲した形で立案されたとのことで、1～9年生までで一貫した内容となっている。 当別・新篠津ブロックでは、令和4年に義務教育学校「とうべつ学園」が開校予定となっており、今回実際に小中一貫校の様子を見せていただけたことで、開校までの準備や、日常の保健室経営について、より具体的なイメージをもつことができた。		